

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科		
科目名称	保育の方法と技術						授業形態	講義・演習		
科目コード	750154	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブラーニング	○	
担当教員名	西田 雅美							ICT活用	○	
授業概要	<p>本授業の目的は、保育所・幼稚園等における保育の方法と技術について学び、園における生活や遊びの場面で子どもとかわるための指導法について理解することである。</p> <p>保育では、子どもの主体性を大切にしながら日々の保育実践を行っているため、保育者が子どもを引き付ける方法と技術を身につけておく必要がある。</p> <p>そのために授業では、子どもを引き付ける教材の製作、またそれを活用した技術の習得に加え、教材を使用しない保育方法やその技術について学ぶ。</p>									
関連する科目	<p>事前に「子どもと手作り遊び」を受講しておくことが望ましい。</p> <p>履修後は、「保育実習Ⅱ」を履修することが望ましい。</p>									
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業にて、演習形式の授業を展開する。1回の授業構成は以下の通りである。</p> <p>授業の前半で子どもを引き付ける保育方法について学び、後半ではその方法を実践しながら保育技術の定着を図る。</p>									
授業計画【第1回】	<p>オリエンテーション 授業概要の説明 子どもとのあそび① ふれあいあそび</p>									
授業計画【第2回】	<p>子どもとのあそび② あそびかたの工夫</p>									
授業計画【第3回】	<p>子どもの発達と表現 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「表現」の領域について学ぶ（えがく活動（鉛筆）と描画材料の使い方）</p>									
授業計画【第4回】	<p>子どもの表現と援助（平面） 子どもの発達段階による表現の特徴を理解し、色彩や保育現場で使える技法を学ぶ（ハサミやのりを使った活動）</p>									
授業計画【第5回】	<p>子どもの表現と援助（立体） 子どもの発達に応じた造形活動の特徴を理解し、製作の内容や材料・用具の使い方を学ぶ（折り紙や紙コップなどを使ったおもちゃ作り）</p>									
授業計画【第6回】	<p>造形活動と環境づくり 造形遊びの体験を通して、保育の造形活動の環境づくりについて学ぶ（新聞紙を使った造形遊び）</p>									
授業計画【第7回】	<p>リトミック① 動きを取り入れた音楽活動を通してリトミックの概要について学ぶ</p>									
授業計画【第8回】	<p>リトミック② 楽器や小物等を使用して多面的なリトミック活動を体験する</p>									
授業計画【第9回】	<p>リトミック③ 幼児（3歳以上）のための指導法</p>									
授業計画【第10回】	<p>リトミック④ 幼児（3歳未満）のための指導法</p>									

授業計画【第11回】	えほんとおはなし① 絵本について（絵本のつくりや分類・読み語りの体験・方法・実践）
授業計画【第12回】	えほんとおはなし② おはなし小道具について（おはなし小道具・体験・実際に触れて確認）
授業計画【第13回】	えほんとおはなし③ 作製（動かして遊べる折り紙・折り紙ペーパーサート・実践）
授業計画【第14回】	えほんとおはなし④ ストーリーテリングについて（ストーリーテリングを体験・ストーリーテリングの理解・実践）
授業計画【第15回】	全体のまとめ（実践発表と課題提示）
授業の到達目標	1. 年齢に応じた保育の方法について理解をすること 2. 保育技術を身につけ、実践できること
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	それぞれの授業内容に関することについて、各自、図書館等を利用して事前に情報を収集しておくこと（30分程度）。
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ保育の方法と技術についての定着を図るため、各自、授業のまとめを行うとともに、子どもたちの前に立っていることを想定し、繰り返し練習すること（30～40分程度）。
課題に対するフィードバック	課題は評価後に返却する
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する 1. 学習態度・意欲 30点 2. 実践（発表含む） 40点 3. 課題提出 30点
テキスト	必要に応じて適宜紹介する
参考書	使用しない
備考	